

科目名	図画工作					開講 キャンパス	神園
担当者	前村 晃						
開講年次	1	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択
授業の概要 及びねらい	さまざまな材料、技法に触れ、多様な造形表現活動を経験することで、図画工作における活動が楽しく有意義であることを理解させる。また、鑑賞活動を実際に経験させることで、鑑賞学習が難しいものではなく、教育的に意義深いものであることを理解させる。						
授業の 到達目標	1) さまざまな材料の特質が理解できる。 2) さまざまな技法の特徴が理解できる。 3) 創意工夫をしながら造形表現活動と楽しく取り組むことができる。 4) 鑑賞活動が、方法次第で、楽しく有意義なものとなることが理解できる。 5) 造形文化と人間の暮らしの関わりについて理解することができる。						
学習方法	講義・実習・演習						
テキスト及 び参考書等	授業時にコピー等を配布する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	◎						50
宿題・授業外レポート		○					10
授業態度				○			10
受講者の発表				○			5
授業への参加度				○			5
その他					◎		20
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
<b>授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)</b>							
第1週	オリエンテーション						
第2週	絵の具によるモダンテクニック 吹き散らし・ドリッピング・にじみ・デカルコマニー・糸引き絵など						
第3週	鉛筆によるデッサン 身近な物						
第4週	鉛筆によるデッサン 人物						
第5週	色面分割による迷路						
第6週	色面分割による迷路 (続き)						
第7週	色面分割による迷路 (続き)						
第8週	紙による工作						
第9週	紙による工作 (続き)						
第10週	紙による工作 (続き)						
第11週	模写による鑑賞						
第12週	複製画による鑑賞 シャガールの絵						
第13週	水彩絵の具による物語の絵						
第14週	水彩絵の具による物語の絵 (続き)						
第15週	水彩絵の具による物語の絵 (続き)						
第16週	水彩絵の具による物語の絵 (続き)						
備考							